

## 人文社会系

# ヘルス・プロモーション・スクール (健康的な学校づくり) 研究拠点

教育学部養護教諭養成課程・教授 岡田加奈子



### 研究の背景

ヘルス・プロモーション・スクール (HPS) はヘルシー・スクールとも言われ、健康的な学校づくりを自ら行い続けることができる学校、さらにそれをふまえて地域の健康づくりの拠点となる学校のことです。

近年、子ども達・教員の心身の健康課題、安全や災害後の心理的対応、インターネットや携帯電話などの影響等、心や体の健康をめぐる学校や地域社会の課題が多様化しています。これについては、個別の課題にバラバラに対応するのではなく、総合的に判断し、優先順位を見据えた対応を行う必要があります。HPSはそのような総合的で組織的な心身両面にわたる健康の地域拠点づくりの試みであり、WHOもHPSを強力に推進しています。

HPSにおいては、児童・生徒、教職員、保護者、地域住民、専門家等が連携・協力し、将来の地域社会の担い手となる子ども達を始め、保護者や地域の人々に健康教育を行うとともに、学校内禁煙や校庭の芝生化など学校や地域環境への働きかけ、さらに子どもや教師のストレス軽減策などを展開します。

しかし、現状のHPSはそれぞれの学校が独自の努力で行っている状況です。それゆえ、我が国はもとより、国際的にもHPSを推進する強力な研究拠点が必要で、教育学部の様々な専門の先生方とともに研究プロジェクトを開始いたしました。

### 研究の成果

台湾、香港、上海、シンガポールなどのHPS学校視察やセミナー開催を通じて、様々な課題を総合的にとらえるチェックリストの必要性を強く感じました。どのような点に着目すれば健康的な学校といえるのかをわかりやすく表したHPSチェックリストを作成し、さらにPDCAサイクルに乗せるための具体例とフォーム、モデルを作成中です。

これらの成果は、東アジア教師教育学会シンポジウム (2010.12)、HPSを推進する教員向けのシンポジウム・研修会の開催 (第1回2011年2月、第2回11月予定) により公表しています。詳しくは、<http://chiba-hps.org/about>をご覧ください。



### 今後の展望

現在は、実際の学校を対象に支援を展開しながら、HPSのモデル構築を行うと同時に、国際拠点となるべく、国際的な情報交流を行っています。

### 【支援を受けた科研費等】

- 平成17～19年度 基盤研究 (C) 「保健室における養護教諭の初期対応に関する養護診断の開発」
- 平成20～22年度 基盤研究 (C) 「保健室における養護教諭の行う養護診断の開発と評価」
- 平成21・22年度 東京学芸大学連合大学院プロジェクト研究費  
「アジア型ヘルス・プロモーション・スクールモデルの構築」
- 平成22・23年度 独立行政法人 教員研修センターモデルカリキュラム開発研究費  
「ヘルシー・スクールを推進する教員研修プログラム」